

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 12 月 20 日 (2007.12.20)

【公開番号】特開 2005-154433 (P2005-154433A)

【公開日】平成 17 年 6 月 16 日 (2005.6.16)

【年通号数】公開・登録公報 2005-023

【出願番号】特願 2004-320896 (P2004-320896)

【国際特許分類】

C 0 7 D 263/42 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 D 263/42 C S P

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 11 月 5 日 (2007.11.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

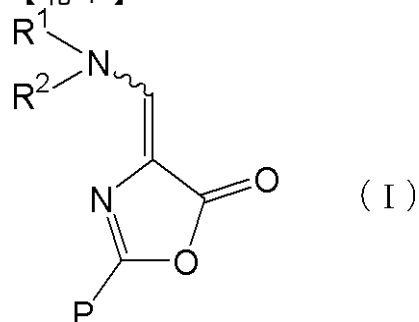
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

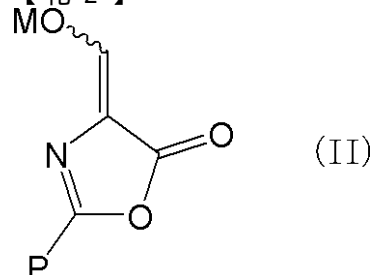
一般式 (I) :

【化 1】



(式中、P は水素原子、アルキル基、アルケニル基、置換基を有していてもよいアリール基、置換基を有していてもよいアラルキル基またはハロアルキル基を示し、 R^1 および R^2 は同一または異なって、アルキル基を示すか、または隣接する窒素原子と一緒になって脂肪族複素環を形成してもよく、波線はシス体若しくはトランス体またはそれらの混合物であることを示す。) で表される化合物またはその塩を、水酸化アルカリ金属の存在下、加水分解することを特徴とする、一般式 (II) :

【化 2】



(式中、Mは水素原子、ナトリウム、カリウムまたはリチウムを示し、Pおよび波線は前記と同意義を示す。)で表される化合物の製造方法。

【請求項2】

Pがメチル基、エチル基、ベンジル基、p-トリル基またはp-クロロフェニル基である、請求項1記載の製造方法。

【請求項3】

Mがナトリウムまたはカリウムである、請求項1または2記載の製造方法。

【請求項4】

アルコール系溶媒以外の溶媒中で行う、請求項1～3のいずれか一項に記載の製造方法。

【請求項5】

水酸化アルカリ金属が、水酸化ナトリウム、水酸化カリウム、水酸化リチウムおよびそれらの混合物からなる群より選択される少なくとも1種である、請求項1記載の製造方法。

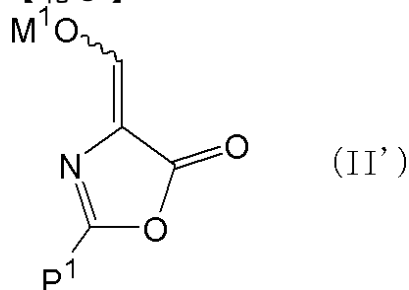
【請求項6】

水酸化アルカリ金属が、水酸化ナトリウム、水酸化カリウムおよびそれらの混合物からなる群より選択される少なくとも1種である、請求項1～3のいずれか一項に記載の製造方法。

【請求項7】

一般式(II'):

【化3】



(式中、P¹はメチル基またはベンジル基を示し、M¹はナトリウムまたはカリウムを示し、波線はシス体若しくはトランス体またはそれらの混合物であることを示す。)で表される化合物の無水結晶。

【請求項8】

P¹がメチル基である、請求項7記載の化合物の無水結晶。

【請求項9】

M¹がナトリウムである、請求項7または8記載の化合物の無水結晶。